

高等学校外国人生徒支援の拡充について

1 拡充の理由

○高等学校における外国籍生徒の増加

<高等学校外国籍生徒数>

	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
外国籍生徒数	440人	505人	578人	639人	742人	871人
うち日本語指導が必要な外国籍生徒数	76人	91人	121人	158人	259人	331人

○重点校（結城第一高校・石下紫峰高校）の外国人特例選抜の志願倍率が1倍超

<重点校における直近4か年の入試の状況>

学校名		2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
結城第一	一般選抜	101/120(0.84)	88/120(0.73)	98/120(0.82)	94/120(0.78)
	うち外国人特例選抜	21/ 40(0.53)	20/ 40(0.50)	<u>45/ 40(1.13)</u>	<u>46/ 40(1.15)</u>
石下紫峰	一般選抜	169/160(1.06)	188/160(1.18)	167/160(1.04)	174/160(1.09)
	うち外国人特例選抜	23/ 40(0.58)	<u>41/ 40(1.03)</u>	<u>40/ 40(1.00)</u>	<u>52/ 40(1.30)</u>

※志願先変更後の志願者数/募集定(人)員(志願倍率)の順に記載。

2 内容

県央・県東・県南・県西地域において、日本語指導が必要な外国籍生徒の在籍数が多い
高等学校へ外国人支援体制を拡充

	年度	基本プランの エリア区分	学校名	主な支援内容等（予定）
重点校	令和4年度～	⑩	石下紫峰	○外国人生徒支援コーディネーターの配置 生活・進路等支援、面談等対応、外部機関連携調整 ○日本語指導支援員の派遣 ○日本語の能力に応じた習熟度別学習等を複数教科で実施 ○日本語指導個別計画作成支援、キャリア支援の実施 ○外国人生徒特例選抜の拡充 ・募集人員の拡大（40人）、在日期間：「制限なし」
		⑪	結城第一	
	令和8年度～	④	大洗	
		⑥	神栖	
		⑧	江戸崎総合	
		⑫	坂東清風	
支援校	令和6年度～	⑩	筑波	○外国人生徒支援コーディネーターの巡回 ○日本語指導支援員の派遣
		⑩	荃崎	
		⑪	結城第二	
	令和8年度～	⑫	三和	

3 今後のスケジュール

令和7年 7月28日 教育長定例記者会見
7月下旬～ 学校説明会

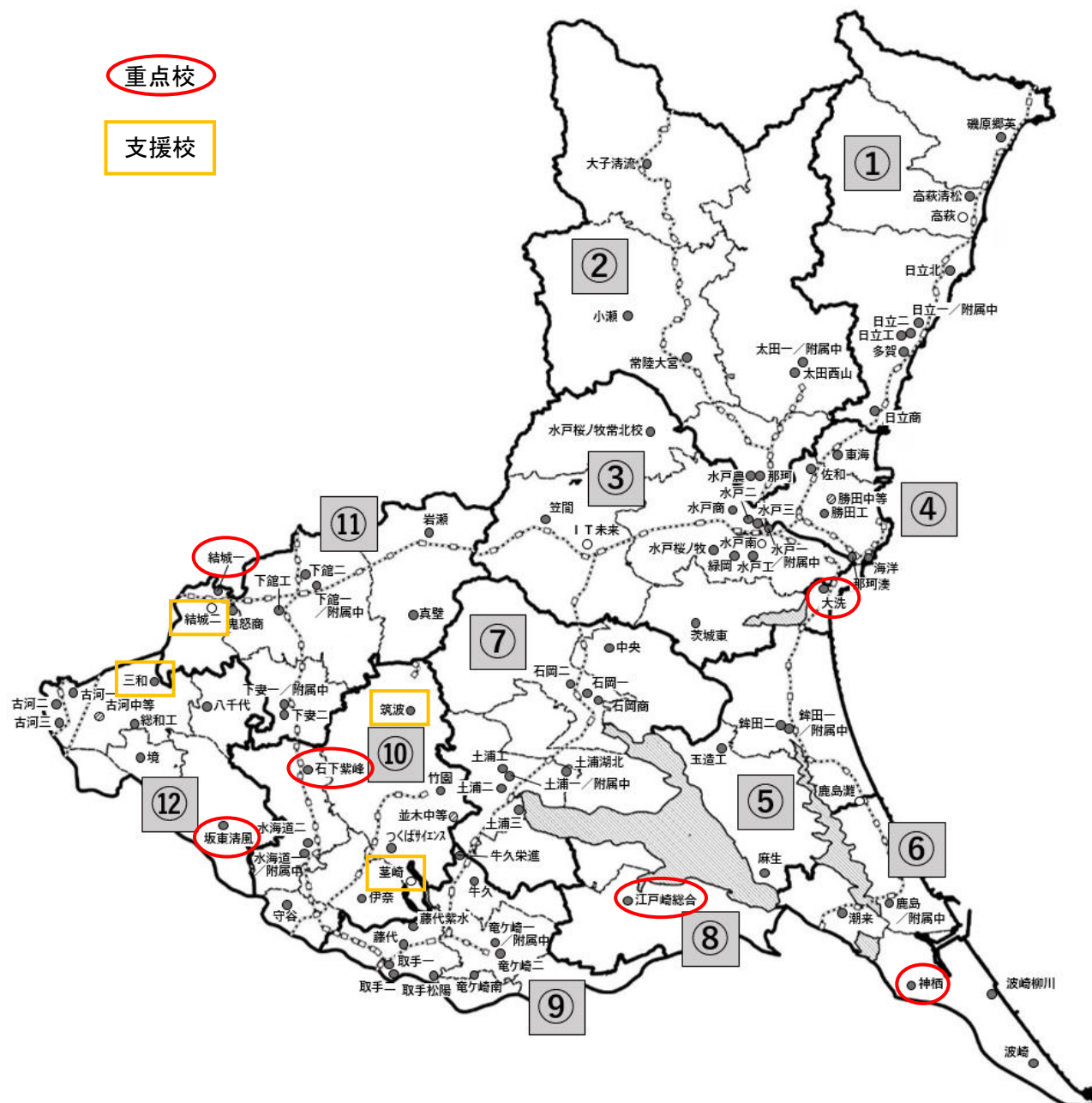
参考 県立高等学校等の配置（2025（令和7）年度募集校）

■ 県立高等学校 90 校 1 分校

全日制課程 84 校 1 分校、定時制課程 12 校、通信制課程 1 校

※うち全定併置 6 校、定通併置 1 校

■ 県立中学校 10 校、県立中等教育学校 3 校



- 全日制高等学校（併設型・連携型中高一貫教育校、全定併置校を含む）
- 多部制定時制高等学校
- ◐ 中等教育学校

令和 8 年度採用 茨城県立高等学校等校長選考試験について

1 目的

- ・ 本県においては、「第 2 次 茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦」に基づき、時代の変化に対応し、自ら考え、自ら行動し、解決できるような「人財」の育成に向け、様々な施策を展開
- ・ 県立高等学校改革プランでは、新たな価値を創造する「起業家精神」を育成するため、これまでに県内各地に中高一貫校を設置し、探究活動、国際教育、科学教育等に重点を置いた教育を 6 年間で計画的・継続的に展開
- ・ また、全国初となる I T 科の専科高校及び県内初となる科学技術科を有する高校の 2 校を開校し、情報化の急速な進展に対応できる実践的な情報活用能力と、社会の諸問題を分析・解決できる能力を培い、将来 I T 分野で活躍できる人財を育成
- ・ さらに、外国人生徒等への支援を充実させ、日本語を母語としない生徒も個々の能力を發揮できる教育体制を構築することで、地域社会の担い手となる人財を育成
- ・ 各学校をさらに前進させていくリーダーとして、これまでのキャリアで培われたマネジメントのノウハウを十分に発揮するとともに、新たな発想に基づく新しい時代の学校を担える方を求めるため、公募による選考試験を実施

2 内容

項目	内容
① 求める人物像	・ 高い倫理観、優れたリーダーシップ及び組織マネジメント能力を有する者 ・ 過去の事例にとらわれない柔軟な発想力と企画力を有する者 ・ 社会の変化への対応力と先見性を有する者 ・ 地域の教育資源を取り込んだネットワークづくりの推進力を有する者 ・ 学校現場の課題を解決できる実行力を有する者
② 配置予定校	・ 10校：併設型中高一貫教育校 6校 (日立第一、太田第一、水戸第一、土浦第一、下館第一、水海道第一) - 中等教育学校 1校(並木) - 高等学校 3校(つくばサイエンス、結城第一、石下紫峰)
③ 応募資格	・ 茨城県公立学校教職員で管理職(校長・副校長・教頭)経験を有する者 ・ 国家公務員、地方公共団体職員(茨城県を含む)、地方独立行政法人、私立学校、民間企業等、その他の事業体で管理職又はこれと同等の経験を有する者 ※年齢制限なし ※これまで本選考を受験した方、任期満了となる現職公募校長も受験可
④ 選考方法	公募による ・ 第 1 次選考：書類選考(応募資格、経歴、実績・自己 P R 動画の審査) ・ 第 2 次選考：個人面接①(オンライン) ・ 第 3 次選考：個人面接②(対面、リファレンスチェック・バックグラウンドチェック併用) ※配置予定校に現在勤務している校長が校長公募に出願した場合、第 1 次・第 2 次選考を免除
⑤ 任用形態	茨城県公立学校教職員の方 ・ 特定任期付職員(4年間)として採用 ・ 1年目から原則として校長に登用 「茨城県公立学校教職員」以外の方 ・ 特定任期付職員(4年間)として採用 ・ 1年目は原則として副校長、2年目から校長に登用(勤務状況等確認) 〔特定任期付職員としての任期満了後について〕 ・ 任期満了後に本選考による校長を希望の場合、本選考を再度受験することが可能。合格した場合、県教育委員会が改めて配置校を決定。

項目	内容
⑥ 給与等	・ 一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成15年茨城県条例第6号）等の規定に基づき支給
⑦ 欠格事項	・ 地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条 ・ 学校教育法（昭和22年法律第26条）第9条

3 スケジュール（予定）

① 実施要項の配布	令和7年7月25日（金）から	配布場所：県教委HP
② 応募期間 第1次選考 （書類審査）	令和7年8月7日（木）から 9月3日（水）まで	受験者は、エン・ジャパン（株）が運営する転職サイトに会員登録し、転職サイトを通じて申し込む。教員は直接高校教育課へ申込み可能
③ 第2次選考 （個人面接①）	令和7年10月	[オンライン面接]
④ 第3次選考 （個人面接②）	令和7年11月	[対面面接] 最終選考
⑤ 合格発表	令和7年12月	結果通知、合格人数公表

【参 考】

○令和7年度採用（R6実施）校長公募選考試験結果

1 応募状況

区分	男	女	計
応募者数	818名	62名	880名

2 選考結果

（1）最終合格者 1名

（2）選考の経過

区分	選考方法	合格者数
第1次選考	書類選考	378名
第2次選考	録画面接	44名
第3次選考	個人面接	7名
第4次選考	個人面接	1名

○校長公募による採用状況

R2採用	太田第一高等学校・附属中学校	校長（R4末退職）
	鉾田第一高等学校・附属中学校	校長（R6末～更新）
	竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校	校長（R6末～更新）
R4採用	水戸第一高等学校・附属中学校	校長
	土浦第一高等学校・附属中学校	校長
	水海道第一高等学校・附属中学校	校長
R5採用	下妻第一高等学校・附属中学校	校長
	つくばサイエンス高等学校	副校長（R5末退職）
	勝田高等学校・勝田中等教育学校	校長
R6採用	I T未来高等学校	校長
	古河中等教育学校	校長
R7採用	鹿島高等学校・附属中学校	副校長

※R7採用、民間人からの採用1名は、R8年度から校長として任用